

第2次瀬戸内市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案） に対するご意見等と市の考え方について

令和6年2月1日から2月29日まで、「第2次瀬戸内市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）」について、パブリックコメントにより意見等を募集したところ、3人の方から10件のご意見等をいただきました。

これらのご意見等につきまして、次のとおり整理し、市の考え方を示しました。

なお、取りまとめの便宜上、寄せられたご意見等は要約させていただいております。

ご意見等の要旨	市の考え方
1.【該当箇所:P19、P21】 「FITによらない自家消費を基本とする再生可能エネルギー利用」を目指すという点が素晴らしいと思いました。また、岡山村田製作所のカーポート型太陽光発電設備が日本最大級ということも初めて知りました。西栗倉村の木質ペレットのように、瀬戸内市といえば太陽光として全国から視察が来るような市になってほしいです。	ご意見いただきありがとうございます。 今後も太陽光発電設備の導入等、瀬戸内市独自の取組を進めて、全国から視察に来ていただけるよう取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。
2.【該当箇所:P55、P56】 発電・送電・売電・蓄電などについて、従来の方法と、今後予定されている技術で、どのような相違点があり、それぞれがどのような原理に基づいて行われるのか、基本的なリテラシーを高めるための教育プログラムがあると、良いかもしれません。 例えば、電気自動車は、本当に温暖化・災害対策として有効なのか、疑問の声も多くあがっており、科学的な立場から、各人が適切に判断するための知識を持つ事も、環境・災害を議論する上で、非常に重要と考えます。	ご意見いただきありがとうございます。 環境学習の具体的な内容につきましては、実施内容を検討中です。いただいたご意見を参考に、情報共有や環境学習の内容について検討を進めてまいります。また、毎年の普及啓発の内容につきましては、前年度の内容や結果を評価し次年度の内容に活かせるようにしたいと考えております。
3.【該当箇所:P1、P2】 「脱炭素の取り組みの先行地域」として「ゼロカーボンシティ宣言」をされたことを聞きこの施策案を読むことができました。そのために、市民、行政が一緒に進めていくことが必要であると宣言されています。これは市民一体とならなくては実現しないことと思います。広報「せとうち」の中で毎回キャンペーンとして、1項目ずつ取り上げてみんなの関心をかう努力をすべきだと思います。これからの地球温暖化を救うためには市民一人一人が責任を持って行動しなければだめだと思うのでぜひ広報活動をしっかりしてほしいです。（1項目ずつ小さなことでも具体的な目標を提示していただければ取り組みやすいのではと思います。）	ご意見いただきありがとうございます。 広報等の普及啓発活動は重要な取組と考えておりますので、ご意見を参考にしながら今後進めてまいります。
4.【該当箇所:P3～P9】 これからの気温の変化、雨量など恐ろしい事ばかりです。化石燃料は使って欲しくない。私の努力としては、車の二酸化炭素の放出はなかなか減らせない。生ごみは十数年コンポストや、市から頂いたバケツ型の生ごみ処理で出していない。後何をすればいいのか、これからの課題をみんなで考えるのもいいのかな？と思いました。瀬戸内市の温室効果ガスを減らす取り組みが成功して全国に広まり岡山県の温度が1.4度上昇にとどまってほしいと願います。	可燃ごみの減量にご協力いただきありがとうございます。市民の皆様と考えて行動していただけるよう取り組んでまいりますので、今後も地球温暖化対策への取組にご協力をお願いいたします。

5. 【該当箇所：P14】 農業、漁業に携わる方の減少は激しいですね。自給率がどんどん減っていくのを食い止める。これはゼロカーボンとは違うでしょうが、深刻な問題と受け止めました。	ご意見いただきありがとうございます。 農業、漁業は自然環境と密接な関わりがあり、その従事者は自然環境を保全する重要な担い手にもなっています。引き続き、従事者の確保、育成を進めることで地球温暖化対策にも取り組んでまいります。
6. 【該当箇所：P15】 森林ですが数年前より大切な広葉樹などが侵食され、山がどんどん竹山になっていっているのがとても心配です。保水効果も薄く、雨量がこれから増えていくと山が崩れ流されていくのではと素人考えですが不安です。竹を駆除し良い山作りは出来ないのでしょうか？	ご意見いただきありがとうございます。 地球温暖化の防止や土砂災害の防止といった森林がもつ多面的な機能が発揮できるように、森林環境の保全や整備を支援できるよう必要な施策を検討してまいります。
7. 【該当箇所：P16】 鉄道利用者の数が、2020年激変したのは学生数が減少傾向にあるためでしょうか？生産年齢の方は1時間に1本になったので自動車利用を増やしたのでしょうか。	鉄道利用者の数が2020年に激変したのは、新型コロナウイルス感染拡大、それに伴う外出自粛要請や緊急事態宣言発令により、外出機会が大幅に減少したためと考えています。
8. 【該当箇所：P18～P20】 電力の排出量が減ったのは、牛窓のソーラーパネルと学校などの屋根にソーラーが付いたせいですか？ 各家庭の屋根にソーラーパネルをつけることへの関心は薄いと思います。「ゼロカーボンシティ宣言」をした。ぜひ協力をと広報などで知らせて、一人一人の意識を高めるキャンペーンをお願いします。 村田製作所の取り組みなど皆さんに伝え、見学会や、講演会などの実施も効果的だと思います。マイクログリッドなどは全然わかりません。	中国電力の電気の排出量が減った要因として、発電の際に発生する温室効果ガスが減ったことがあります。 FITによる再生可能エネルギーが増えたことも一つの要因にはなっていると考えます。広報活動等の普及啓発活動は重要な取組と考えておりますので、今後進めてまいります。
9. 【該当箇所：P29、P30】 中高生のアンケートから「地球温暖化に対する関心度」が他と比べ最低の15%「環境を守るための活動や地域とのつながり」も最低の28%との答えにショックを覚えました。将来を託す子供たちが、社会全体で取り組み協力していこうとの意識が少ないのでしょうか。 人間の根本として必要なことと思っていましたので、悲しいです。	重点対策の1つである「将来を担う子供達への環境学習、普及啓発の実施」の中で地球温暖化や環境を守るための活動への関心を高めることが出来るよう取組を進めてまいります。
10. 【該当箇所：全体】 「豊かな自然と快適な暮らしが調和するまち 瀬戸内市のビジョン」 中高生のアンケートから、本当にできるの？とさみしい気持ちになりましたが、皆様の努力でいろいろなデータも集め大変な作業と思いますが、感謝します。広報などを通して啓もう活動をして「良いことは必ずできる」と信じて、前に進んで欲しいと思いました。	ご声援ありがとうございます。今後も、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。